

原市場聖書教会

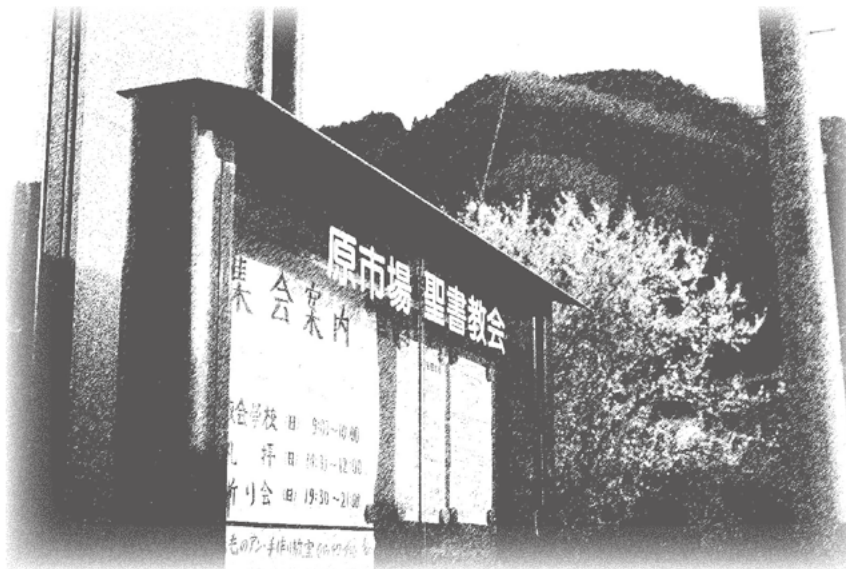
NO. 786

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 4. 26

主日礼拝

2020年 4月 26日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：本多節子姉
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：渡辺恵姉

賛	美	「イエスに栄光あれ」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「初めにおられた神のみことば」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌295番「成したまえなが旨」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			渡 辺 恵 姉	
賛	美	聖歌332番「飼い主なる主よ」	—	同
聖書朗読		ローマ7章7節~13節	司 会	者
説	教	「律法は罪なのか？」	若 村 和 仁 師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌570番「雨をふりそそぎ」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若 村 和 仁 師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会 者	

●礼拝後の昼食会は
4月いっぱいお休みとします。



「律法は罪なのか？」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

□ローマ7章7節～13節

7, それでは、どのように言うべきでしょうか。律法は罪なのでしょう。決してそんなことはありません。むしろ、律法によらなければ、私は罪を知ることはなかったでしょう。実際、律法が「隣人のものを欲してはならない」と言わなければ、私は欲望を知らなかったでしょう。

8, しかし、罪は戒めによって機会をとらえ、私のうちにあらゆる欲望を引き起こしました。律法がなければ、罪は死んだものです。

9, 私はかつて律法なしに生きていましたが、戒めが来たとき、罪は生き、
10, 私は死にました。それで、いのちに導くはずの戒めが、死に導くものであると分かりました。

11, 罪は戒めによって機会をとらえ、私を欺き、戒めによって私を殺したのです。

12, ですから、律法は聖なるものです。また戒めも聖なるものであり、正しく、また良いものです。

13, それでは、この良いものが、私に死をもたらしただけなのでしょうか。決してそんなことはありません。むしろ、罪がそれをもたらしただけです。罪は、この良いもので私に死をもたらしることによって、罪として明らかにされました。罪は戒めによって、限りなく罪深いものとなりました。

今月の賛美

46

初めにおられた神のみことば



1 はじめにおられた -かみのみことば -ほし
 2 うしなわれたもの -すくいだすため -てん
 3 はかを打ちやぶり -死にしょうりして -とり



とつきと日を -つくられた主よ あな
 の御座をおり -ひととなられた御手
 こを引 き連れ -てんにのぼった ちち



たのみこえは -ぜんちをたもつ -そら
 を差しのべて -ひとをたすけた -けれ
 のまえに立ち -いまもとりなし -くに



と うみ と 地は -よろこびうたう -
 ど も十 字 架は -たえしのぼれた -
 ぐ にの た みを -みくにへまねく -

(くりかえし)



イエスはすくいぬし -世のつくりぬ



し -みこえはぜんちにひびく

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

●先週の復習

- 1、パウロは、モーセの律法を知っているだけでは救いは無いと語った。
- 2、律法に反し自分の欲のままに生きる時、滅びの実を結ぶ結果となる。
- 3、律法により示された罪をキリストに差し出す、欲に対して死ぬ時神の祝福の実を受ける者となる。

このような、三つのポイントから学びました。

パウロは、イエス様とその弟子を迫害することに燃えていた時は、律法の中に生き、律法こそが人を救うと思っていました。しかし、パウロは、イエスキリストと出会ってから、律法こそが自分の罪を膨らましていたことに気が付いたのです。また、律法を知ることによって満足していた自分自身は、禁止事項を守る結果、それを守れない人々を裁き、罪の世界へと自分自身が引っ張り込まれていたことに気づかされたのです。

そんな、罪の苦しみからイエスキリストの福音（救いの知らせ）を知り律法こそが人を救うのではなく、キリストの愛（神の愛）こそが人を救うことをパウロ知ったのです。そして、キリストの弟子たちを迫害する人生から、キリストの愛を伝える人生へと180度人生が変わったのです。

●今日の御言葉のテーマ「律法は罪なのか？」

神を求めていたパウロが、逆に神を求める人々を迫害するツールとして使った「律法」は必要ないのではないかと、もしくは、律法は罪なのではないか？という疑問に対し、今日の聖書の箇所を通して解説しています。

そこで説明されるまず第一のポイントは？

1、律法によらなければ罪を知ることはなかった。

パウロは、律法を知る前は、罪の意識が生まれなかったと語ります。律法はそもそもどんなことが書かれているのか？モーセの十戒は一つを除き、すべて禁止条項で書かれています。禁止条項ではないものは、第五戒の「父と母を敬え」です。それら以外は、すべて禁止条項なのです。もちろん人が神様から離れずお互いに助け合って生きるために必要な禁止条項ではありますが、人々は禁止されなければ、欲望のままに、自己中心に物事を進めてしまう弱さがあるから、よくないものはしっかり教えていただく必要があるのです。

しかし、私たちは、「してはならない」と言われるとしてみたくありません。「見てはならない」と言われると見たくなくなって弱さがあるのです。パウロはこの戒めがあってこそ、自分自身の「欲望」を知った（7節）と語っています。

コロサイ3章5節を通して知ることは、この欲望や、貪欲自体が偶像礼拝であり、貪欲を殺してしまいなさいと語ります。ようするに、自分で解決できない貪欲な心は、自分の力で対抗するのではなく、切り捨ててしまいなさい。と語るのです。戒めがあってこそ、私たちは心の内には貪欲があり、それが神様との関係を崩していることを知るのでした。

2、戒めでは解決できない罪（欲望）

本日は第一番目のポイントとして、律法によってこそ自分自身の罪（貪欲、偶像礼拝）に気づかされるということを学びました。しかし、この戒めだけでは、私たちの罪（欲望）は解決はできないのです。解決はできないが自分自身の弱さ（罪）を知ることはできます。しかし戒めだけでは、解決どころか、この戒めを知れば知るほど、罪（欲望）は増すのです。では、戒めを知らなければよいのか？それもまた違うのです。パウロはまじめな人でしたから、戒めを守ること自体に悩むことはそうなかったとも言われています。しかし、一つ戦っていたと言われるのが、本能的に体が欲する欲望です。これは人間生きていれば誰もが持つ戦いではないでしょうか？ またもう一つパウロの弱さは、禁止条項を守ることができない人々を受け入れることができなかつたのです。その結果、第10の戒め「あなたの隣人の家を欲しがってはならない」という欲望の禁止条項を守ることができなかつたのです。この戒めを通して、自分のコントロールできない欲望を知ったのです。それは、肉体が欲する欲望と、自分が守っていることと全く同じようにできない人を許せないという欲望です。一件この2つの欲望は現れ方は全然違いますが、自分自身中心であることには変わりがないのです。

決して、人間の力で、人を変え戒めに従わすことはできないのです。人は、何においても、自分の利益中心で動いてしまう弱さがあるのです。これが他者の救いを中心とし、他者に有益なことを中心にし、イエス様を模範とし行動できれば、かなり世界は変わるはずなのです。ですから、律法が私たちに罪の死をもたらしたのではないのです。

3、私たちに死をもたらしたのは、律法ではなく私たちの内に住む罪（欲望）

1番目と2番目のポイントから学んできたように、私たちに罪を気づかせたのは、律法です。だから、私たちに死をもたらしたのは、律法である。と言えるのでしょうか？パウロは決してそう語らないのです。そもそも、律法は、私たちが知らずに神様を悲しませ、神様から離れてしまう罪（欲望）に気づかせてくれるツールであるのです。律法が私たちに死をもたらしたのではないのです。

アダムとエバのところを思い出したいと思います。罪が入ったのは、人間の欲望です。善悪の知識の実を食べ、「神のようになりたい」という欲望です。そもそも、その欲望が罪である。と神様はパウロを通してしっかりと伝えてあります。

●まとめ「律法は罪ではない。律法が神から私たちを引き離すのではなく、私たちが神から引き離すのは私たちの内に住む罪（欲望）である。」

今日の箇所をまとめますと、

1、律法は罪ではない。律法そのものは神様との関係を引き離さない。

2、律法が罪をあらわにする。罪は私たちの内に住む欲望

3、私たちが神から引き離すのは、私たちの内に住む罪（欲望）

結局は、私たちの心に問題があるのです。この弱さを正しく律法を通して知らなければ、本当の罪の救いと解決である大事なポイント「罪の悔い改め」と、「福音（イエスキリストの救いの計画）」と出会うことができないのです。

私たち日々、律法を通して自分の弱さを知り、イエスキリストによって治療していただく者でありたいです。

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆引き続き4月もコロナウィルス対策として、平日の集会、家庭集会はお休みとし日曜日の礼拝はおこないますが、賛美は一節のみ、聖餐式はお休みいたします。その他の各集会は5月ゴールデンウィーク明けまでお休みとしますが、状況によってさらに延長する可能性が高いです。

体調不良の方は、礼拝出席を無理せずラインにて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

★礼拝中の席は、お隣とひと席空け、ゆとりをもってお座りください。

☆イエス様の復活を感謝し私たちの神様への感謝の表れとして「イースター献金」をお献げしたいと思います。イースター献金袋をご用意しています。イースター献金にご利用ください。

☆訃報：岡本浩季兄が4月20日午前6時ごろ自宅にて急性心不全にて天に召されました。ご遺族のご希望により、青梅斎場にてご親族のみの葬儀を行いました。残されたお母さまの生活が守られるよう神様からの慰めがあるようお祈りください。

4月の誕生日

3日 岡野あかね姉 18日 本多守兄 28日 佐藤裕子姉 30日 若村愛結歌ちゃん

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・4月27日～5月1日（月～金） NPO 法人あまやどり奉仕 （場所：高麗聖書教会）
- ・4月30日（木） hi-b.a. 所沢オンライン集会 （場所：オンラインにて）
- ・5月1日（金） hi-b.a. 川越オンライン集会 （場所：オンラインにて）

本日午後の予定

☆礼拝後、昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週（5月3日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：□-マ7章14節～25節

説 教：「善の実践を妨げるものとは？」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讚 美：「イエスが愛したように」 今月の賛美「父の神の真実は」

聖歌442、聖歌404、聖歌464、聖歌383

受 付：勝山幸子姉 献金感謝祈祷：若村めぐみ姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
4月19日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	4人			4人
	礼 拝	3人	6人	10人	19人
			（礼拝はオンライン参加者6名含む）		
	夕 礼 拝		お休みでした。		
4月22日（水）	祈 り 会		お休みでした。		

集会案内

4月29日（水）	祈 り 会	お休みいたします
5月3日（日）	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

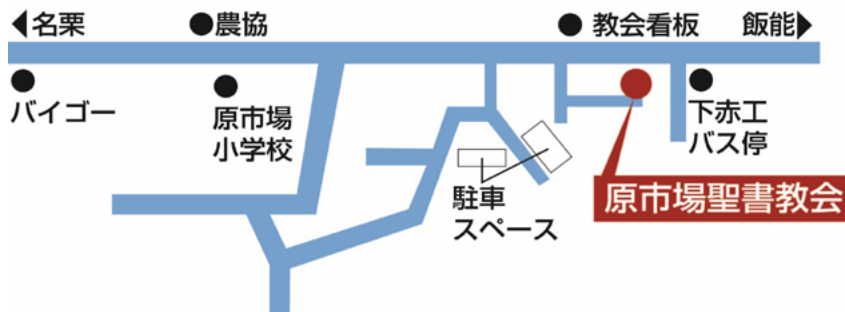
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-980-6442

牧師:若村和仁